

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第56号

特別展 宮代町の指定文化財

宮代町郷土資料館では平成28年10月29日(土)から12月25日(日)まで、特別展「宮代町の指定文化財」を開催しています。

文化財とは、美術品や建築物、古文書、考古資料などの他、生活用具などといった民俗資料や祭礼、音楽、演劇、伝承される技術などといった無形のものの中で、文化的価値や歴史的価値の特に高いものを示します。そしてそれらの中で、宮代町の長い歴史の中で今日まで大切に守り伝えられてきた貴重な

文化財が、町指定文化財となります。宮代町では昭和56年に宮代町第1号の指定文化財が誕生してから現在までに、33件が町指定文化財とされました。

今回の特別展は、昭和60年に町制施行30年を記念しておこなわれた文化財展以来の展示で、指定文化財展としては初めての展示となります。これまでに町指定文化財に指定されたものの中には、日頃はなかなか見ることのできないものも多いのですが、それらを可能な限り一堂に会する機会とすることができました。ここでは、町指定文化財にどのようなものがあるのかをご紹介しますため、展示した文化財

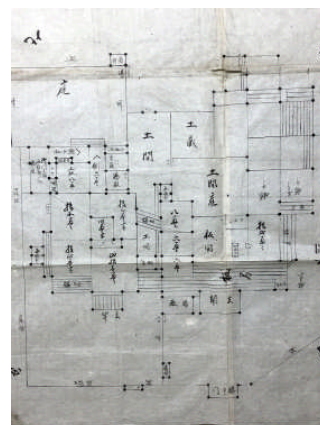
の中からいくつかをご紹介します。



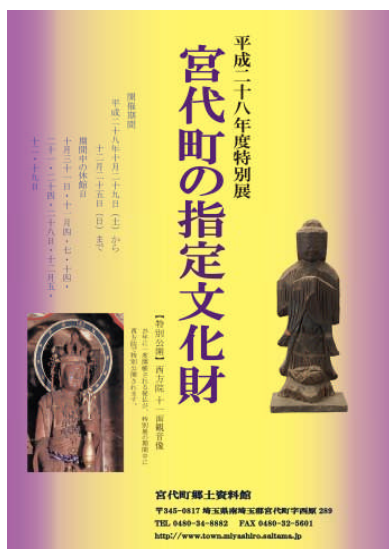
12体の円空仏 展示風景

まずは円空仏です。町域では、12体の円空仏が指定されています。宝生院の役行者が像高約34cm、真蔵院の如来形立像が像高約46cmとやや大きめですが、西方院の菩薩形坐像2体の平均が約13cmであるのをはじめ、個人のお宅に伝わる円空仏8体の像高が約8~18cmと小型のものが多いのですが、これは地域的な特徴といえます。

次いで展示資料の中で注目していただきたいのは、関根家文書の「杉戸宿本陣絵図」です。この絵図は天保15年(1844)から安政4年(1841)のあたりで作成されたと推定され、もりおか歴史文化館所蔵のものとあわせ全国で2点のみであり、とても貴重な図面です。



杉戸宿本陣絵図 (関根家文書)



特別展ポスター

このほか関根家文書には江戸時代中期前半の「岩槻城絵図」も含まれていますが、これも江戸時代中期前半のものとしては初見のものとなっています。

江戸時代の信仰において、神仏習合がおこなわれていたことはよく知られているところですが、五社神社の御神体にそれがよく現れています。五社神社には御神体として箱付き和鏡5面と台座付の柄鏡1面が伝わっていますが、箱付きの和鏡には1箱1体



千手観音像の収められた箱付和鏡

ずつ毘沙門天、千手観音、阿弥陀如来、不動明王、薬師如来といった仏像が納められています。これらは、「日本の神々は、さまざまな仏が姿を変えて日本に現れたその姿である」という本地垂迹説との関係が推察され、とても興味深いものです。箱の蓋裏には、一人ずつ施主の名が刻まれている、百間西村や百間東村の名主や西光院住職、旗本永井氏の家臣の名などを見ることができます。

また、昨年度中に新規に指定された文化財として、西光院に伝わる「絹本着色徳川家康画像」と「粟田口焼葵紋茶碗」があります。



絹本着色徳川家康画像

「絹本着色徳川家康画像」は、元々は西光院の境内にあった東照宮の御神体であったと思われています。徳川家康を神格化した画像で、冠をいただき、葵文様をあしらった黒の束帯に身を包み、笏を持ち太刀を佩き、纏綱縁の上畳に右斜めに坐した

姿で描かれています。絹本に着色をした掛け軸ですが、本紙部分はもちろん、風帯・中廻し、一文字などといった掛幅装の全てを描いて表現するという「描表装(えがきひょうそう)」の技法で作製されている珍しいものです。

そして「粟田口焼葵紋茶碗」は、先に紹介した家康画像と共に徳川家光の時代に日誉との関係で西光院が拝領したと伝わる茶碗です。乳白色の



釉が施された丸碗で、高台付近は化粧掛け風となっており、高台の内側に「粟田口」との刻印が見られます。葵紋が2ヶ所描かれていますが、この葵紋は江戸時代前期に使用されていたものであることから、拝領するに至った伝承にもうなづけます。

粟田口焼葵紋茶碗

そして特記すべきは、秘仏として25年に一度ご開帳されている、西方院の十一面観音像が、特別展の期間中のみ公開されるということです。この十一面観音像は、もともとは西方院近くにあった蓮台山流水寺観音堂の本尊として祀られていたもので、伝承によると幸手一色氏の寄進と伝わる仏像です。子



十一面観音像

育て観音として篤く信仰されており、直近の御開帳は平成14年でした。次の御開帳は平成39年となるようですが、今回は特別展の期間中のみ拝観させていただくことができるとなりました。

また、特別展の会場に展示できなかったものも含め、皆さんに知っていただく機会を設けるために、講演会として「鎌倉・室町時代の宮代町」「仏像～円空仏を中心に」「西光院の歴史と文化財」というテーマで講師の方に話をさせていただきます。さらに歴史ウォーク「文化財散策」を、町内にある駅3ヶ所を起点に3

コースご用意しました。町に残る貴重な文化財の数々を、是非ご覧下さい。

特別展関連歴史ウォーク 和戸編

平成28年11月13日(日)に特別展「宮代町の指定文化財」にあわせ、「文化財散策 和戸編」を開催しました。当日は11名の方々が和戸駅に集合し、14年ぶりに公開された西方院十一面観音を目指し散策しました。講師は郷土資料館学芸員が務め、文殊院墓地や須賀村役場跡、和戸教会などをめぐりました。十一面観音は明治初期まで近くにあった蓮台山流



歴史ウォーク 和戸教会

水寺観音堂の本尊でしたが、廃寺となった後、同じ宗派である西方院に移されました。伝承では幸手城の城主であった一色氏が寄進したと伝わります。通常は25年に1度公開されますが、今回は特別展期間中に特別公開してもらうこととなりました。ある参加者は「めったに見学できない観音様を拝見できて大変感動しました」と話してくれました。



歴史ウォーク 西方院十一面観音像

夏休み体験学習教室

郷土資料館では夏休み体験学習教室として、「郷土資料館へ行こう」と「縄文土器づくり教室」を開催しました。「郷土資料館へ行こう」は7月27日から8月25日にかけて全7日で縄文ペンダントづくりや勾玉づくり、絞り染め上級・初級を行いました。計99名の小中学生が参加しました。



土器焼き

縄文土器づくり教室は7月23日に土器づくり、8月24日に土器焼きが行われました。講師は春日部市教育委員会の長谷川清一氏。参加者は15名。西原自然の森で土器を焼いている間には、火おこし体験や縄文ペンダントづくりを行いました。ある参加者は土器がうまく焼けて良かったと話してくれました。



火おこし体験

「琵琶のしらべ」が開催されました。

平成 28 年 9 月 25 日（日）に、郷土資料館敷地内にある町指定文化財・旧加藤家住宅を舞台に、琵琶



演奏中の様子

のしらべが開催されました。昨年度中に 2 回開催され大変好評を得たもので、今回は 3 回目となります。

演目は俊寛(上)・
転生・お富与三郎・

俊寛(下)の4つで、出演者は(琵琶)杉浦本信さん・(語り)田中佳志子さん・(講談)岩崎敏夫さんの三人でした。

俊寛は「源平盛衰記」や「平家物語」に登場する人物で、能や歌舞伎などの題材とされていることでも知られています。謀反の罪により俊寛は他の2名と共に鬼界ヶ島に流刑となりましたが、翌年の



杉浦本信さん

恩赦で、俊寛だけが許されず島に取り残されることとなったのです。悲しみから絶望へと向かう俊寛の心情が、琵琶の響きと重なり合い、演奏をお聞きになっていた方々の胸に伝わったようです。

このほか志賀直哉の作品「転生」を田中佳志子さんによる朗読で、そして歌舞伎や落語の題材としても知られている「お富与三郎」を岩崎



田中佳志子さん

敏夫さんの講談でお楽しみいただきました。

9月中の天候不順により、お孫さんの運動会の日程が琵琶の調べ当日と重なってしまった方が多かったようで、前回までの集客に至



岩崎敏夫さん れなかったことはとても残念でしたが、ゆったりとした空間の中で、演目と旧加藤家の生み出す雰囲気とを十分に味わっていただくことができたのではないのでしょうか。

資料館日誌抄

- 7月16日 企画展「江戸時代の百間本村
～10月23日 ～宿・川島・切戸～」
- 7月27～28日・8月4～5日・17日～18日・24日～26日
夏休み体験教室 郷土資料館に行こう(98名)
- 7月29日 商工会歴史講座職員派遣(10名)
- 8月3日 国保運営協議会委員見学(11名)
- 8月4日 春日部市郷土資料館学芸員実習生見学(5名)
- 8月6日 かやぶき民家で聞く昔話(20名)
- 8月20日 移築民家と「アタラシイ」ゲキ13(20名)
- 8月24日 土器焼き・火おこし体験他(15名)
- 8月25日 蓮田市文化財展示館学芸員実習生見学(5名)
- 9月16日 デイサービスセンターソラティア資料館見学
～17日(44名)
- 9月25日 演奏会「琵琶のしらべ」(21名)
- 10月1日 みやしろ市民ガイドクラブ資料館見学(21名)
- 10月4日 百間2丁目ひばり会資料館見学(11名)
- 10月4日 西光院遺跡試掘調査
- 10月7日 中遺跡試掘調査
- 10月15日 フォトログみやしろ(200名)
- 10月18日 須賀遺跡試掘調査
- 10月21日 日工大旧加藤家住宅調査(20名)
- 10月26日 百間小学校ひまわり学級資料館見学(4名)

- 10月29日 特別展「宮代町の指定文化財」
～12月25日
- 11月9日 百間小学校4年生資料館見学(57名)
- 11月12日 埼玉県近代和風建築調査
- 11月13日 特別展関連歴史ウォーク「文化財散策 和戸駅
コース」開催(11名)
- 11月18日 交流みやしろ歴史講座講師派遣(12名)
- 11月20日 特別展関連講演会「鎌倉・室町時代の宮代町」
(19名)
- 11月20日 みやしろマルシェ笠原沼講師派遣(30名)

資料館寄贈者名簿 (敬称略)

関永一徳(石塔)、中村 豊(民具、書籍)

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第56号

発行日 平成28年11月20日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>